

「つぶされてたまるか！10・22中小業者決起集会」への賛同のお願い

原油・資材・穀物高騰による諸物価の上昇により、中小業者の経営は危機的状況です。その一方で、市場を独占する大企業や商社は価格改定をくり返し、大もうけするなど、原油・資材等の高騰が格差を広げています。

そんななか、漁民や農民、トラック業者などが立ち上がったように、原油・資材等の高騰から営業と暮らしを守れという世論と運動がかつてない規模で広がっています。

全商連は、繰り返し政府交渉を行うと同時に、全国各地の自治体に業者の実態を持ち込み、支援策を要求するなど、危機打開への必死の努力を続けています。

緊急対策を求める声が高まるなか、福田首相は総合経済対策を発表した直後に、政権を投げ出しました。しかも、総合経済対策は、原油高が続くことを前提に、この状況に耐えられない業者を淘汰し、生き残る業者だけを支援するという、構造改革を推進する内容です。自民党は、総裁選を機に、消費税増税論議を強め、財界も消費税率引き上げ・法人税減税を要求し、世論誘導に力をいれています。

このままでは、中小業者はつぶされてしまいます。

私たち全商連は、原油・資材・穀物の高騰から中小業者・国民の経営と暮らしを守るための実効性のある対策と消費税増税阻止をかかげ、左記のとおり、「つぶされてたまるか！10・22中小業者決起集会」を開催します。また、同日午前中には、政府や各政党・国会議員、石油元売企業などへの要請行動を準備しています。

つきましては、左記スローガンの内容に賛同していただけるものがありませんたら、貴団体のご参加もしくは、メッセージを賜れば幸いです。あわせて、「原油・資材・穀物高騰と公的負担増から経営と暮らしを守る」緊急署名にも賛同していただけますよう、お願いいたします。

記

「つぶされてたまるか！10・22中小業者決起集会」

【要求スローガン】

○原油・資材・穀物の高騰から中小業者・国民を救済せよ！

投機マネーを規制し、減税措置の実現を。政府の責任で燃油価格を大幅に引き下げること。○すべての中小業者を対象にした金融支援策を実施せよ！

セーフティーネット保証をすべての中小業者が活用できるようにし、金利を公定歩合並みに引き下げること。「元金返済の凍結」など、返済要件緩和の緊急措置を実施すること。

○消費税の増税は行わないこと

○分割納付している納税者からは延滞税（国税）や延滞金（地方税）を徴収しないこと

○国保料（税）を引き下げ、すべての国保加入者に無条件で正規保険証を交付せよ！

○後期高齢者医療制度は廃止せよ！

【日時】 2008年10月22日（水）午後1時開会、デモ行進を含め午後4時終了（予定）

【場所】 東京・日比谷野外音楽堂（東京都千代田区日比谷公園内）

2008年 月

全国商工団体連合会

東京都豊島区目白2-36-13

（電話）03・3987・4391

（FAX）03・3988・0820

全国商工団体連合会 行き

「つぶされてたまるか！10・22中小業者決起集会」賛同要請への回答書

*集会スローガンに賛同していただけますか（賛同していただける場合は を）

・ 賛同する

*賛同していただける場合、貴団体名を集会で紹介させていただくことについて（該当する方に を）

・ 同意する
・ 紹介しない方がよい

メッセージ

貴団体名前

代表者のお名前

住所・連絡先